

第4回多気町小学校統合準備委員会

議事録【要点記録】

1 日時 令和7年6月4日（水） 18:30～20:00

場所 多気町役場大会議室

2 出席者

委員：高倉委員、藤原委員、北山委員、森井委員、池下委員、前納委員、
小林委員、角谷委員、田丸委員、木屋委員、鈴木委員、達村委員、
西浦委員、達委員、大谷委員、久保委員、島岡委員、吉川委員、鳥
井委員、村田委員、中西委員、橋本委員、野呂委員、西村委員、福
井委員、明石委員

アドバイザー：近藤准教授、市田准教授

多気町長：久保 行男

事務局：小林教育長

岡井課長、安濃学校統合室長、花谷係長、浦田係長、

中森指導主事、森下学校統合主査

欠席者：岸川委員

3 委員会事項

（1）委員会の概要

事務局：多気地域小学校統合準備委員会設置条例に基づき、過半数の出席のため準備委員会成立とする。

町長より開会の挨拶

委員紹介【資料1】

教育長より挨拶

事務局紹介【資料2】

野呂委員長、森井副委員長より挨拶

(2) 準備委員会の目的、協議内容、運営について【資料 3-1、-2、-3】

事務局 : 前年度準備委員会では、3 校先行統合することを決定し、議会へ説明させていただいた。

準備委員会設置条例、基本的方針、準備委員会委員の内訳について説明。

質問 無

(3) 各部会、分科会について【資料 4-1、-2、-3】

事務局 : 統合小学校部会設置規則、各部会、部会構成委員について説明。

質問 無

(4) 令和 6 年度準備委員会経過及び状況説明【資料 5-1、-2、-3、-4、-5】

事務局 : 統合準備委員会組織図、開催状況、3 小学校先行統合について、基本構想、基本計画について説明

質疑応答

委員① : プールは建設しない方向か、諸室について学級数は検討段階か。

事務局 : 現在各学校のプールは、老朽化が進んでいる。昨年度勢和小学校がサンパークへ委託という形でお世話になり、今年度は外城田小も加えて、お世話になっている。プールの建設費は、約 2.5 億円かかり、毎年水道代等が 100 万円近くかかる。40~50 年スパンでランニングコスト等様々なことを考慮すると委託する方が良いと考える。また、委託だと専門のコーチに指導をしてもらえる。今年 5 月にサンパークへお伺いさせていただき、確約ではないが、今後もお世話になっていきたいという旨をお伝えしている。外城田小学校は、5 月からプールの授業をおこない、保護者の方々は初めてのことで、戸惑った部分もあったと思う。また、近隣市町でも老朽化が進み、修繕や新設ではなく民間委託が進んでいる。同様な状況を踏まえ当町も民間委託で進めていきたい。

学級数については、35 人を超えると 2 学級となる。移住定住の施策をしているが、転入者が定住していただいていることから、近年は出生数より入学者数の方が多い。資料の児童数は、令和 6 年度末の数字であり、実際の学級数が変わることは考えられる。

委員① : 国が定める人数があるのは理解しているが、1 クラス 30 人以上だと先生方の混乱、負担が大きいと思われる。多気町としての柔軟な対応をお願いしたい。

委員② : サンパークを利用するとなると、移動時間がかかることから、授業のコマ数の考え方について教えていただきたい。

事務局 : 昨年の勢和小学校の場合、午前中の 4 コマを使用。サンパークへ行ってから 2 コマ分をプールの授業とし、移動と着替えに 2 コマ分使っている。3 回利用していることから、プールについては計 6 コマになる。

アドバイザーより

准教授 : 建設検討部会アドバイザーということで、昨年度建設検討部会は、4 回開催している。基本構想を作るために、他の部会に比べて多く開催している。様々な自治体の進め方があるが、多気町は町民と一緒に考えるという、チャレンジングなやり方でここまでできたのが客観的に思ったことである。事務局から、今回の統合小学校は数十年後の未来を見据えて、また明日も行きたくなる学校、未来の子どもたちのために考えるということとしている。既成概念の固まりになっている大人が、数十年後の未来を考えることは大変であった。グループワークを開催し、委員の皆様と議論を重ねていく中で、未来的な学校や今できている新しい学校の事例を紹介させていただき、こんな学校があるということを委員の皆様イメージをしていただきながら、既成概念を払拭し、考えた結果が表れている。一方で、多気町らしさも必要で、未来が変わったとしても、守り、維持していかなければならないことも、同時に議論していた。建築の設計をしていく上において、議論した結果がそのまま建物になるわけではないが、要件が決まらないと設計はできない。皆様が大事にしたいことや、未来の子どもたちに託したいことが議論され、出されたものだとは私と考えている。

准教授 : 運営・地域合同検討部会と運営検討部会に入らせていただいたが、昨年度一番大きかったことは、令和 13 年の統合前に令和 10 年に 3 校先行統合することが適切か否かという議論が中心だった。最初部会では、3 校先行統合することは子どもたちに負担をかけるんじゃないか。小規模教育の良さがあるのではないかとの意見があった。それが保護者や未就学児保護者、或いは、学校教諭の先生方のご意見を聞くと、例えば小規模校がいきなり統合した時のギャップの話や、複式学級の指導、予想される困難等そのような意見が多数寄せられ、課題もあるが、結果的に先行統合をしようという結論に至った。その後、運営検討部会で様々なことを具体的に考えていくと、課題が出てきている。例えばプ

ールをどうするのか、めざす子ども像、学校教育目標をどうするか等、これから議論していく必要があるということが確認されている。詳細は今年度以降、議論していくが、部会だけではなく、様々な場でご意見いただくことが非常に良いと思っている。

(5) 今後のスケジュールについて【資料 6-1、-2】

事務局 : 3 校統合及び全体スケジュールについて説明。

質問 無

(6) その他

事務局 : 委員報酬の支払いについて、マイナンバーや口座情報を記入し提出をお願いする。次回準備委員会の開催は 10 月頃を予定し、日程が決まり次第通知する。各部会の開催通知を机上に配布したので出席をお願いする。(6/25. 7/1~3)

以上